

南西小だより 校長資料 「学級懇談会に寄せて」

令和5(2023)年度
南阿蘇村立
南阿蘇西小学校
学校だよりNo.12号
R6.3.1(金)
文責 佐藤 和也

本日は、授業参観・PTA総会・学級懇談会、大変お世話になります。また、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

いよいよ本年度も、あと一か月を切りました。本日の懇談会は、一年間を振り返るとともに次年度へ向けての大切な懇談会となります。担任より学級経営や子どもたちの学習や学校生活の様子が話されます。お子さんの成長を感じていただければ幸いです。

次年度も子どもたちの健やかな成長のために、保護者の皆様との信頼関係が深まることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

◎学級懇談会に寄せて(よりよい子どもへの接し方)

☆ ある研修会で講師の先生がお話になったことです。

1 子どもが幸せを感じる事ができるように

子どもが幸せを感じるのは、次のような4つの視点が重要である。
人を(担任・友だち・親)と置き換えて考えるとよい。

- ① 人から「愛される」こと
- ② 人から「ほめられる」こと
- ③ 人から「必要とされる」こと
- ④ 人の「役に立つ」こと

本年度2学期始業式で「3つの幸せ」という話をしました。共通しているところがあると思います。「幸せを感じる」と、自己実現につながると思いました。



2 子どもへの言葉かけ「ワースト3」に気をつけて

子どもたちが親に言われて嫌な言葉として取り上げた「ワースト3」には、次のようなものがある。

- ① 「はやくしなさい」
- ② 「ちゃんとしなさい」
- ③ 「しっかりしなさい」

子どもであっても指示的・命令的な言葉は、受け入れにくい。気をつけていきたい。

3 「感謝の心」を大切に

家庭教育で育みたい大切な心情の中に「感謝の心」がある。次のような格言も参考にして、親子で話題に取り上げて考えてみて欲しい。

- ☆ 感謝の心が高まれば高まるほど、それに比例して幸福感が高まっていく。(松下幸之助：パナソニック創業者)
- ☆ 感謝の心を持つことは、そういう小さな幸せを手にするチャンスがたくさん作ってくれる。(長友佑都：サッカー日本代表)

☆ お話に感銘を受けました。参考にさせていただければ幸いです。